

平成29年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

第1号議案 平成28年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認

第2号議案 任期満了に伴う監事2名の選任について

平成29年6月22日

一般社団法人 学士会

【審議事項】

第1号議案

平成28年度事業報告並びに決算報告

I. 平成28年度事業報告（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

事業概況

平成28年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の3点を掲げ、当該課題に対する積極的な取り組みを行いながら、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 会員サービスの充実と七大学との連携による会員増強の基礎固め
- (2) 学士会館の機能の強化および建物の適切な維持保全
- (3) 安定した財務基盤の確立

平成28年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取り組み結果等について報告致します。

(1) 会員サービスの充実と七大学との連携による会員増強の基礎固め

会員にとって本会の存在や活動を一層魅力あるものにするため、既存事業（講演会や会報発行）の内容充実に努めるとともに、若手会員や女性会員のニーズにも応えるべく、当該会員にとって魅力あるプログラムの開発・提供にも取り組んで来ました（実施活動の具体的内容は、次頁以降で詳述いたします）。その結果、講演会（夕食会・午餐会）では前年に比べより多くの会員の参加を得ることができ、『學士會会報』も多くの方々から高い評価を得ております。また、若手会員・女性会員の活動参加も増えて参りました。

会員増強に向けた活動では、従来からの地道な入会勧誘活動を継続して実施するとともに、準会員制度（無料の登録会員制度）の新設や新入学生に向けての入会勧誘など、新しい仕組み作りにも取り組んできました。

関係七大学においては総長を始め学内関係者の本会への理解も深まり、卒業式やその他の機会を捉えての入会勧誘活動に多大な協力が得られるようになりました。特に本年度は大学の協力の下で、九州大学、名古屋大学において新入生に対する組織的な入会勧誘活動（学生会員登録）を展開することができました。今後ともこのような新たな取り組みを拡大させて参ります。

平成28年度末における会員数は対前年1,201名の減（逝去及び会費未納による退会者を含む）となりましたが、昨年を引き続き、入会者数・退会者数・会費未納退会者数のいずれもが改善傾向を示し、ここ数年の取り組みが徐々にではありますが実を結びつつあると言えます。

(2) 学士会館の機能の強化および建物の適切な維持保全

学士会館の適正な維持管理の為に定期的な保守メンテナンスを行うとともに、経年劣化に対応した会館施設の改修や附属機器の更新等を適宜行い、商業施設としての機能維持、品質向上にも努めました。

また、耐震問題に精通する東京大学塩原研究室に助言を仰ぎつつ、平成22年に実施した耐震診断に基づく「耐震評価」を改めて行い、千代田区に対し学士会館の耐震性に関する報告を行いました（報告結果の公表は平成29年10月頃の予定）。これらを踏まえ、平成29年度は将来に向けた学士会館の整備に関する検討を事業計画に基づき行って参ります。

(3) 安定した財務基盤の確立

会員の退会防止、会費収入の安定化に向け、終身会費規定の見直しを契機として、本年度は会員の皆さまに終身会員への切り替えを積極的に働きかけた結果、600名を超える会員の皆さまが終身会員に移行し、終身会費収入の大幅な伸びに繋がりました。

（株）学会館精養軒に委託している会館運営事業は、婚礼事業の落ち込み等により売上額が減少し、結果、本会の会館運営収入も減とはなりましたが、本年度は課題である減価償却費を負担した上での経常収支の黒字化を達成することができました。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 （『學士會会報』及び『NU7』）

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行致しました。『學士會会報』は第918号を平成28年5月、第919号を7月、第920号を9月、第921号を11月、第922号を平成29年1月、第923号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、第5号を5月、第6号を7月、第7号を9月、第8号を11月、第9号を平成29年1月、第10号を3月にそれぞれ発行し全会員に配布するとともに、同窓会等で学会館を利用する卒業生や七大学関係者、そしてホームカミングデー、地域講演会の参加者等に無料で配布し、会員増強に資するよう努めました。

2. 学会館

(1) 会館の利用実績は次の通りです。

□会議室利用回数	4,250回	(4,297回)	※カッコ内は前年度の実績
□会議室利用人員	163,558名	(162,876名)	} ※延べ人数 計 337,477名 [1日平均951名]
□宿泊室利用人員	8,406名	(8,682名)	
□レストラン等利用人員	152,511名	(153,396名)	
□読書室利用会員	3,466名	(3,347名)	
□会員倶楽部室利用会員	9,536名	(9,457名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次の通り会館の補修・改修工事を行いました。

- ・建物耐震再診断実施（2009年版耐震診断基準に基く）
- ・202号室内モニター用カメラ交換
- ・エレベータ/外部エスカレーター修理工事（経年部品交換）
- ・201号室および広間カーペット張替え
- ・屋上ウッドデッキ改修工事
- ・3階4階5階他漏水対策補修工事
- ・「新島襄先生生誕碑」改修工事
- ・各種設備保全修理工事

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,557名の
参加がありました。なお、8月、12月は例年通り休会致しました。

「真田丸の謎」～信繁は名将か愚将か	千 田 嘉 博 氏 (平成28年 4月例会)
学士会創立130周年記念講演：プロメテウスは解放されてよかったのか	
	久 保 正 彰 氏 (平成28年 5月例会)
死を創る時代の生き方	柳 田 邦 男 氏 (平成28年 6月例会)
和食文化を再考する	熊 倉 功 夫 氏 (平成28年 7月例会)
消費者被害の実態とこれからの消費者教育	板 東 久美子 氏 (平成28年 9月例会)
没後百年に読みなおす夏目漱石	小 森 陽 一 氏 (平成28年10月例会)
KAGRAプロジェクトと重力波天文学	梶 田 隆 章 氏 (平成28年11月例会)
国立大学の今とこれから	里 見 進 氏 (平成29年 1月例会)
中央銀行という存在	白 川 方 明 氏 (平成29年 2月例会)
ゆがめられた関西像	井 上 章 一 氏 (平成29年 3月例会)

(2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、
延1,752名の参加がありました。なお、5月と8月は例年通り休会、1月は「新春講演会」
開催のため休会致しました。

認知症最新研究～治療法と予防戦略	柳 澤 勝 彦 氏 (平成28年 4月例会)
日本製ジェット旅客機を世界の空へ -MRJの挑戦-	
	江 川 豪 雄 氏 (平成28年 6月例会)
古代ゲノムで解明する日本人の成立	篠 田 謙 一 氏 (平成28年 7月例会)
微生物創薬と国際貢献	大 村 智 氏 (平成28年 9月例会)
リチウムイオン電池 現在・過去・未来	吉 野 彰 氏 (平成28年10月例会)
西洋名画の知られざる謎	中 野 京 子 氏 (平成28年11月例会)
アメリカ新大統領と今後の日米関係	久 保 文 明 氏 (平成28年12月例会)
地球と共存する経営	小 林 喜 光 氏 (平成29年 2月例会)
人工知能最前線～人間はAIとどう付き合っていくべきか	
	松 原 仁 氏 (平成29年 3月例会)

(3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、65名の参加がありました。

祝 ニホニウム Nh 発見ーいかにして森田浩介らは113番元素の命名権を獲得したかー

矢 野 安 重 氏 (平成29年 1月9日)

(4) 関西茶話会

本年度は昨年に引き続き、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延147名の参加が
ありました。

- 第24回 「真田幸村と大坂の陣 - 智将幸村の生き方・戦い方-」
北川 央 氏 (平成28年 4月16日)
- 第25回 「伝統的京町家に学ぶ住まいの知恵と技」
矢ヶ崎 善太郎 氏 (平成28年 6月11日)
- 第26回 「地域の研究者からみた地震災害への対応—大分県の例」
竹村 恵二 氏 (平成28年10月15日)
- 第27回 「言語の壁を越える音声言語コミュニケーション研究の現状と今後」
中村 哲 氏 (平成29年 2月18日)

(5) 見学会等

首都圏及び関西地域において、以下のとおり見学会等を開催しました。

[首都圏]

本年度は次の通り、見学会・坐禅会等を開催し、各45名、17名、68名、94名の参加がありました。

- ・「坐禅会&写経」(場所:白雲山金龍寺) (平成28年10月 1日)
- ・「国立西洋美術館建築見学会」 (平成28年10月26日)
- ・「カトリック神田教会建物見学会」&「文化財と古楽コンサート」 (平成28年11月17日)
- ・「円覚寺 国宝『舍利殿』特別拝観&坐禅会」 (平成28年12月10日)

[関西地区]

本年度は次の通り、見学会(解説付き)等を開催し、各44名、40名、23名の参加がありました。

- ・「清風荘見学会」 今西 純一 氏 (平成28年 5月21日)
- ・「對龍山荘見学会」 矢ヶ崎 善太郎 氏 (平成28年11月18日)
- ・「コーヒー教室」 小川珈琲 本店 (平成28年12月 3日)

(6) クリスマス家族会

平成28年12月23日、学士会館においてクリスマス家族会を開催致しました。「催し」として、日本で唯一のアニメ漫才師アキラボーイによるデジタルショーを開催し、384名の参加がありました。

(7) 新年祝賀会

平成29年1月5日、佐々木毅理事長の新年の挨拶、大崎仁副理事長の発声による乾杯、賀宴、米澤賢一会員の謡曲披露の後、「催し」として、宝生流能楽師藪克徳氏他による連吟と仕舞で新年を祝いました。121名の参加がありました。

(8) 若手交流会

本年度は次の通り、45歳までの会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延90名の参加がありました。

- 若手工場夜景クルーズ（参加者35名）（平成28年10月 2日）
 独身会員限定 夜の水族館貸切パーティー（参加者55名）（平成29年 2月12日）

（9）若手茶話会

本年度、39歳までの会員を対象とした茶話会（「土曜カフェ」「土曜ランチ」）を毎月定例で開催すると共に、名古屋地区においても同様の集いを2回開催しました。会員が提案する様々なテーマでの討論やディスカッションを行い、交流を深めました。また、その中から「読書会」やミニブレゼン会、ビリヤードセミナーなどを独立開催し、延313名の参会がありました。

<テーマ・ゲスト例>

- 「産業の為の技術から社会のための技術へ」 富 浦 梓 氏（平成28年 7月30日）
 「饗宴」（読書会） 久 保 正 彰 氏（平成28年 9月24日）
 「世界を読む」 古 川 貞二郎 氏（平成29年 1月28日）

（10）女性会

本年度は次の通り、女性会員を対象とした女性会を開催し、延55名の参会がありました。

- 「美姿勢&ウォーキング講座」（平成28年 4月 9日）
 「コーヒブレンド体験教室」（平成28年 6月11日）
 「スマートフォンカメラ教室」（平成28年 9月24日）
 「食養生ランチ会～五感で感じる“薔薇”」（平成28年10月22日）
 「クリスマス菓子・シュトーレンとベーグル作成教室」（平成28年11月26日）
 「顔ヨガ教室」（平成29年 2月25日）

（11）地域講演会

昨年度に続き、北海道大学、東北大学、名古屋大学、九州大学の所在地域で講演会を開催し、延565名の参会がありました。

- 北海道地区（講演会・懇親会） 共催 学士会・北海道大学校友会エルム
 後援 北海道大学・北海道新聞社・NHK札幌放送局
 「北海道から世界へ～スイーツ王国の国際戦略」
 長 沼 昭 夫 氏（平成28年10月 1日）
 （77名）
- 名古屋地区（講演会・夕食会） 主催 学士会、名古屋大学全学同窓会
 後援 名古屋大学
 「科学技術の課題と展望」 濱 口 道 成 氏（平成28年12月 9日）
 （180名）
- 東北地区（講演会・懇親会） 主催 学士会
 共催 東北大学、東北大学校友会
 後援 河北新報社、NHK仙台放送局
 「我が死生観」 山 折 哲 雄 氏（平成29年 2月 4日）
 （142名）

□九州地区（講演会・懇親会）

主催 学士会、九州学士会

後援 九州大学、九州大学同窓会連合会

西日本新聞社、NHK福岡放送局

「113番新元素「ニホニウム」発見」

森田浩介氏（平成29年 3月18日）

（166名）

(12) ホームカミングデーへの出店

昨年度に引き続き、本年度も各大学が主催するホームカミングデーに、次のとおり参加しました。

①大阪大学 学士会紹介（平成28年 5月 1日）

②東京大学 学士会ビア屋台（平成28年10月15日）

③東北大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介（平成28年10月29日）

④京都大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介（平成28年11月 5日）

(13) サマーパーティー・クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、独身者を対象とした若手交流会を開催し、延89名の参会がありました。

「サマーパーティー2016」（参加者43名）（平成28年 7月16日）

「クリスマスパーティー2016」（参加者46名）（平成28年12月18日）

(14) ウェルカムパーティー

若手会員が今年度の新卒会員を招待するという形でのイベント「ウェルカムパーティー」を平成28年7月29日に開催しました。53名の参会がありました。

(15) 七大学学生の集い

学生会員に対する企画イベントとして、平成28年11月24日に「第3回 七大学学生の集い」を開催しました。本年度も七大学の学部生及び大学院生を対象に募集を行い、参加学生同士の交流を行うと共に、今回は若手会員によるキャリア相談の場を設け、懇親、交流を深めました。学生会員16名、若手会員17名、計33名の参加がありました。

(16) 鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を、本年度は12回企画・実施し、延722名の参加がありました。

(17) 良縁企画

結婚を希望している方やその親御様を対象にした企画を、(株)学士会館精養軒と共催し、延197名の参会がありました。

「親から始める子どものための良縁講座 第3弾」 (平成28年 4月16日)

「女性のための愛されコミュニケーション講座」(女性限定)

安東 徳子氏 (平成28年 8月 6日)

「こう話せばうまくいく！公私に役立つ女性との対話講座」(男性限定)

安東 徳子氏 (平成28年 8月 7日)

「親と子が共に参加する良縁講座」

(平成28年 8月28日)

「親から始める子どものための良縁講座 第4弾」

新城 紀子氏 (平成28年11月27日)

「親と子が共に参加する良縁講座 第2弾」

(平成29年 3月 5日)

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成28年6月23日学士会館において開催致しました。当日の出席代議員70名、書面等による議決権行使代議員24名、合計94名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案 1 平成27年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認について

議案 2 任期満了に伴う理事15名の選任について

議案 3 任期満了に伴う監事2名の選任について

(2) 臨時代議員総会

平成29年3月16日、「臨時代議員総会」を学士会館において開催致しました。当日の出席議員は63名、書面等による議決権行使代議員27名、計90名の出席により成立し、増子昇総会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 平成29年度事業計画案及び予算案について

報告事項 (1) 「会員増強」の取組みについて

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会 (平成28年4月28日)

1. 平成28年度通常代議員総会の開催について

2. 平成27年度決算概要について

報告 (1) 平成27年度末会員数及び年度内動向

(2) 新卒業学士等の入会状況

(3) 平成28年度の理事会等会議体日程

□ 5月理事会（平成28年5月26日）

1. 平成28年度通常代議員総会の議案について
2. (株)学士会館精養軒の第65期定時株主総会議案について
報告（1）会員増強について—会員数の増減等—

□ 6月理事会（平成28年6月23日）

1. 通常代議員総会第2号議案（理事選任）について
報告（1）（本日開催）通常代議員総会について

□ 6月臨時理事会（平成28年6月23日—代議員総会終了後開催）

1. （定款第27条第2項に基づく）理事長の選任について
2. （定款第27条第2項に基づく）副理事長及び常務理事の選任について
3. 会報編集委員会委員及び会員増強実行委員会委員の選任について

□ 7月理事会（平成28年7月21日）

1. 学士会事務局の組織変更及び事務局職員の異動について
報告（1）会員増強について
（2）「地域イベント（講演会・交流会）」の開催について
（3）七大戦開会式（7月2日開催）について
（4）平成28年度後半の理事会等の日程について

□ 9月理事会（平成28年9月23日）

1. 「会員増強実行委員会報告」
—これまでの活動と今後の取組みの方向性—
2. 「学士会 準会員規則」の制定について
報告（1）会員増強について
（2）第55回「全国七大学総合体育大会」の競技結果及び閉会式について
（3）九州大学への支援金寄付（熊本地震被災者支援等）について

□ 10月理事会（平成28年10月27日）

1. 「準会員制度」の導入について
2. 「会員氏名録」の発行について
3. 平成28年度上半期決算報告について
併せて—(株)学士会館精養軒の平成28年度上半期決算報告—
4. 平成28年度上半期資金運用状況及び下半期資金運用計画（案）について
報告（1）会員増強について
（2）「地域イベント」の開催について

□ 11月理事会（平成28年11月24日）

1. 平成28年度「臨時代議員総会」の開催について
2. 平成29年度の理事会等開催日程について
3. 『學士會會報』のデジタルアーカイブ化とその活用について
報告（1）学士会館の耐震診断結果について
（2）会員増強について

□ 1月理事会（平成29年1月26日）

1. 「平成28年度決算見通し」について
- 報告（1）会員増強について

□ 2月理事会（平成29年2月23日）

1. 平成28年度「臨時代議員総会」の開催について
 2. 平成29年度 事業計画案について
 3. 平成29年度 予算案及び資金計画案について
- 報告（1）「会員増強」について
- （2）地域講演会開催結果（東北）及び開催予定（九州）について

□ 3月理事会（平成29年3月16日）

- 報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について

（4）監事会（平成28年5月26日）

以下の議題について、検査及び審議を行いました。

1. 平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
2. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
3. 監査法人からの報告
4. 代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）の件

（5）常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

（6）諸委員会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	平成28年	5月26日	会報第921号
第2回	平成28年	7月21日	会報第922号
第3回	平成28年	9月23日	会報第923号
第4回	平成28年	11月24日	会報第924号
第5回	平成29年	1月26日	会報第925号
第6回	平成29年	3月16日	会報第926号

イ. 会員増強実行委員会

委員会は、次の通り開催され、会員増強に向けての各種施策について協議を行いました。また、『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で発行しています。

- 第12回 平成28年 4月26日
- 第13回 平成28年 7月13日
- 第14回 平成28年 9月 9日
- 第15回 平成28年11月 4日
- 第16回 平成29年 1月12日

なお、本委員会は平成29年4月以降も継続して開催されております。

ウ. 趣味同好会

平成28年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、会食、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次の通りです。*カッコ内は前年度実績

新 会 員	870名	(843名)
逝 去 会 員	756名	(696名)
退 会 会 員	932名	(1, 026名)
会費長期未納退会者	383名	(412名)
差 引 減	1, 201名	(1, 291名)
現 在 会 員 数	46, 794名	(内 終身会員5, 369名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が617名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が4, 752名になります。)

6. そ の 他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運営業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要] (平成29年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 渡邊 幸重
□資本金	10, 000, 000円
□売上高	1, 647, 954千円 (平成28年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成28年度の営業結果は、次の通りです。

□平成28年度 (平成28年4月1日~平成29年3月31日) 決算	
・売上高	1, 647, 954千円 (前年度: 1, 685, 366千円)
・営業利益	30, 010千円 (同 : 54, 738千円)
・経常利益	37, 563千円 (同 : 61, 351千円)

なお、当会との取引関係については、「平成28年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	213,499,779	225,139,279	△ 11,639,500
未収金	37,370,651	37,823,861	△ 453,210
前払費用	1,562,145	1,540,210	21,935
流動資産合計	252,432,575	264,503,350	△ 12,070,775
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	374,632,674	436,497,890	△ 61,865,216
基本財産合計	807,025,994	868,891,210	△ 61,865,216
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,558,744,800	1,573,780,000	△ 15,035,200
建物設備修繕特定資産	1,512,361,068	1,498,387,970	13,973,098
会員活動強化特定資産	289,982,458	358,782,328	△ 68,799,870
終身会費特定資産	87,300,000	0	87,300,000
退職給付引当特定資産	75,217,750	74,764,450	453,300
役員退職慰労引当特定資産	3,895,430	4,476,677	△ 581,247
特定資産合計	3,527,501,506	3,510,191,425	17,310,081
(3) その他固定資産			
什器備品	40,164,217	36,838,730	3,325,487
一括償却資産	448,467	900,287	△ 451,820
ソフトウェア	6,475,711	2,221,276	4,254,435
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	47,104,395	39,976,293	7,128,102
固定資産合計	4,381,631,895	4,419,058,928	△ 37,427,033
資 産 合 計	4,634,064,470	4,683,562,278	△ 49,497,808

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,810,735	23,104,313	△ 1,293,578
前受金	2,686,915	2,386,835	300,080
預り金	955,727	923,059	32,668
未払消費税等	3,175,100	16,015,100	△ 12,840,000
賞与引当金	6,667,000	6,933,000	△ 266,000
流動負債合計	35,295,477	49,362,307	△ 14,066,830
2. 固定負債			
退職給付引当金	75,217,750	74,764,450	453,300
役員退職慰労引当金	3,895,430	4,476,677	△ 581,247
固定負債合計	79,113,180	79,241,127	△ 127,947
負債合計	114,408,657	128,603,434	△ 14,194,777
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,519,655,813	4,554,958,844	△ 35,303,031
(うち基本財産への充当額)	(807,025,994)	(868,891,210)	(△61,865,216)
(うち特定資産への充当額)	(3,448,388,326)	(3,430,950,298)	(17,438,028)
正味財産合計	4,519,655,813	4,554,958,844	△ 35,303,031
負債及び正味財産合計	4,634,064,470	4,683,562,278	△ 49,497,808

正味財産増減計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	26,522,596	28,119,300	△ 1,596,704
② 受取会費			
普通会費収益	168,958,500	175,495,700	△ 6,537,200
終身会費収益	39,000,000	30,050,000	8,950,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	289,440,000	289,540,000	△ 100,000
業務委託変動収益	49,052,645	50,215,862	△ 1,163,217
④ 事業収益			
講演会等収益	25,498,484	28,528,020	△ 3,029,536
同好会費収益	632,961	566,935	66,026
会報等広告料収益	7,919,558	16,201,099	△ 8,281,541
氏名録発行収益	0	187,975	△ 187,975
⑤ 雑収益			
受取利息及び配当金	16,002,214	16,041,876	△ 39,662
その他収益	2,840,154	3,695,056	△ 854,902
経常収益計	625,867,112	638,641,823	△ 12,774,711
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,664,724	2,332,040	332,684
給与手当	97,490,214	96,378,093	1,112,121
賞与引当金繰入額	4,933,580	5,130,420	△ 196,840
退職給付費用	4,404,850	3,330,000	1,074,850
福利厚生費	16,075,702	16,070,312	5,390
旅費交通費	3,537,845	2,980,165	557,680
電話費	813,372	781,023	32,349
減価償却費	79,524,478	83,454,554	△ 3,930,076
什器備品費	705,525	1,314,845	△ 609,320
事務用品費	676,575	533,200	143,375
消耗品費	4,856,944	3,984,761	872,183
図書費	427,842	432,952	△ 5,110
営繕費	17,728,400	21,635,511	△ 3,907,111
施設保守費	72,295,203	63,748,069	8,547,134
給水冷暖房費	19,711,273	21,632,924	△ 1,921,651
電灯電力費	31,403,911	34,682,462	△ 3,278,551
保険料	1,053,090	1,095,117	△ 42,027
租税公課	56,790,400	57,229,900	△ 439,500
会報費	63,184,224	63,405,655	△ 221,431
氏名録関連費	0	61,555	△ 61,555
講演会等経費	23,413,911	28,232,218	△ 4,818,307
会員活動強化費	1,912,003	1,872,649	39,354
七大学支援費	7,596,500	7,380,000	216,500
システム管理費	5,341,940	5,227,973	113,967
会場施設使用料	1,737,000	1,749,789	△ 12,789
事業費計	518,279,506	524,676,187	△ 6,396,681

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
役員報酬	5,481,011	5,364,955	116,056
給与手当	34,253,329	33,862,583	390,746
賞与引当金繰入額	1,733,420	1,802,580	△ 69,160
役員退職慰労引当金繰入額	864,173	802,500	61,673
退職給付費用	1,547,650	1,170,000	377,650
福利厚生費	7,121,933	7,104,109	17,824
旅費交通費	1,518,320	1,390,695	127,625
会議費	6,013,454	7,904,376	△ 1,890,922
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	345,987	334,728	11,259
減価償却費	3,032,486	3,874,554	△ 842,068
事務用品費	289,967	228,520	61,447
給水冷暖房費	609,640	669,071	△ 59,431
電灯電力費	971,260	1,072,659	△ 101,399
租税公課	18,615,278	19,485,348	△ 870,070
会員活動強化費	4,062,143	3,558,160	503,983
集金費	5,517,434	5,652,239	△ 134,805
業務報酬料	5,190,000	5,500,000	△ 310,000
システム管理費	4,713,940	4,559,974	153,966
雑費	1,675,071	1,350,450	324,621
管理費計	103,672,124	105,803,129	△ 2,131,005
経常費用計	621,951,630	630,479,316	△ 8,527,686
評価損益等調整前当期経常増減額	3,915,482	8,162,507	△ 4,247,025
特定資産評価損益等	△ 37,546,500	68,905,400	△ 106,451,900
当期経常増減額	△ 33,631,018	77,067,907	△ 110,698,925
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 特定資産償還益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	518,248	755,281	△ 237,033
② 固定資産除却損	1,013,765	152,655	861,110
経常外費用計	1,532,013	907,936	624,077
当期経常外増減額	△ 1,532,013	△ 907,936	△ 624,077
税引前一般正味財産増減額	△ 35,163,031	76,159,971	△ 111,323,002
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 35,303,031	76,019,971	△ 111,323,002
一般正味財産期首残高	4,554,958,844	4,478,938,873	76,019,971
一般正味財産期末残高	4,519,655,813	4,554,958,844	△ 35,303,031
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,519,655,813	4,554,958,844	△ 35,303,031

正味財産増減計算内訳書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科目	実施事業等会計			その他事業会計					法人会計	合計
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学生支援事業	その他事業		
I 一般正味財産増減の部										
I. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,522,596
②受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	207,958,500
③会館運営収益	0	0	0	338,492,645	0	0	0	0	338,492,645	338,492,645
④事業収益	7,919,558	0	7,919,558	0	10,900,952	5,502,430	0	9,728,063	26,131,445	34,051,003
⑤雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,842,368
経常収益計	7,919,558	0	7,919,558	338,492,645	10,900,952	5,502,430	0	9,728,063	364,624,090	625,867,112
(2) 経常費用										
①事業費	107,177,435	7,180,000	114,357,435	280,069,045	29,877,551	46,397,517	23,028,935	24,549,023	403,922,071	518,279,506
役員報酬	2,664,724	0	2,664,724	0	0	0	0	0	0	2,664,724
給料手当	26,322,357	0	26,322,357	26,322,357	13,648,629	13,648,629	7,799,217	9,749,025	71,167,857	97,490,214
賞与引当金繰入額	1,332,066	0	1,332,066	1,332,066	690,701	690,701	394,686	493,360	3,601,514	4,933,580
退職給付費用	1,189,309	0	1,189,309	1,189,309	616,679	616,679	352,388	440,486	3,215,541	4,404,850
福利厚生費	4,340,439	0	4,340,439	4,340,439	2,250,598	2,250,598	1,286,056	1,607,572	11,735,263	16,075,702
旅費交通費	901,501	0	901,501	901,501	467,445	467,445	466,060	333,893	2,636,344	3,537,845
電話費	235,877	0	235,877	0	203,343	260,279	16,267	97,606	577,495	813,372
減価償却費	1,590,489	0	1,590,489	56,462,379	795,244	11,928,671	7,157,203	1,590,492	77,933,989	79,524,478
什器備品費	0	0	0	705,525	0	0	0	0	705,525	705,525
消耗品費	0	0	0	3,885,555	485,694	485,695	0	0	4,856,944	4,856,944
事務用品費	196,206	0	196,206	0	169,143	216,504	13,531	81,191	480,369	676,575
図書費	0	0	0	427,842	0	0	0	0	427,842	427,842
営繕費	0	0	0	17,728,400	0	0	0	0	17,728,400	17,728,400
施設保守費	0	0	0	72,295,203	0	0	0	0	72,295,203	72,295,203
給水冷暖房費	394,225	0	394,225	13,995,003	197,112	2,956,690	1,774,014	394,229	19,317,048	19,711,273
電灯電力費	628,078	0	628,078	22,296,776	314,039	4,710,586	2,826,351	628,081	30,775,833	31,403,911
保険料	0	0	0	1,053,090	0	0	0	0	1,053,090	1,053,090
租税公課	0	0	0	56,790,400	0	0	0	0	56,790,400	56,790,400
会報費	63,184,224	0	63,184,224	0	0	0	0	0	0	63,184,224
講演会等経費	0	0	0	0	8,725,924	5,980,942	0	8,707,045	23,413,911	23,413,911
会員活動強化費	0	0	0	0	0	1,288,098	469,462	154,443	1,912,003	1,912,003
七大学支援費	0	7,180,000	7,180,000	0	0	0	416,500	0	416,500	7,596,500
システム管理費	4,197,940	0	4,197,940	343,200	286,000	286,000	57,200	171,600	1,144,000	5,341,940
会場施設使用費	0	0	0	0	1,027,000	610,000	0	100,000	1,737,000	1,737,000

②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103,672,124	103,672,124	
役員報酬											5,481,011	5,481,011	
給料手当											34,253,329	34,253,329	
賞与引当金繰入額											1,733,420	1,733,420	
役員退職慰労引当金繰入額											864,173	864,173	
退職給付費用											1,547,650	1,547,650	
福利厚生費											7,121,933	7,121,933	
旅費交通費											1,518,320	1,518,320	
会議費											6,013,454	6,013,454	
賃借料											115,628	115,628	
電話費											345,987	345,987	
減価償却費											3,032,486	3,032,486	
事務用品費											289,967	289,967	
給水冷暖房費											609,640	609,640	
電灯電力費											971,260	971,260	
租税公課											18,615,278	18,615,278	
会員活動強化費											4,062,143	4,062,143	
集金費											5,517,434	5,517,434	
業務委託料											5,190,000	5,190,000	
システム管理費											4,713,940	4,713,940	
雑費											1,675,071	1,675,071	
経常費用計	107,177,435	7,180,000	114,357,435	280,069,045	29,877,551	46,397,517	23,028,935	24,549,023	403,922,071	103,672,124	621,951,630	621,951,630	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 99,257,877	▲ 7,180,000	▲ 106,437,877	58,423,600	▲ 18,976,599	▲ 40,895,087	▲ 23,028,935	▲ 14,820,960	▲ 39,297,981	149,651,340	3,915,482	3,915,482	
特定資産評価損益											▲ 37,546,500	▲ 37,546,500	
当期経常増減額	▲ 99,257,877	▲ 7,180,000	▲ 106,437,877	58,423,600	▲ 18,976,599	▲ 40,895,087	▲ 23,028,935	▲ 14,820,960	▲ 39,297,981	112,104,840	▲ 33,631,018	▲ 33,631,018	
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益											0	0	
①特定資産償還益											0	0	
経常外収益計											0	0	
(2) 経常外費用													
①基本財産除却損											518,248	518,248	
建物除却損											50,000	50,000	
建物附属設備除却損											415,296	415,296	
構築物除却損											52,952	52,952	
③固定資産除却損											1,013,765	1,013,765	
什器備品除却損											1,010,699	1,010,699	
固定資産磨滅損											3,066	3,066	
経常外費用計											1,532,013	1,532,013	
当期経常外増減額											▲ 1,532,013	▲ 1,532,013	
税引前一般正味財産増減額											▲ 35,163,031	▲ 35,163,031	
法人税・住民税及び事業税												140,000	140,000
当期一般正味財産増減額											▲ 35,303,031	▲ 35,303,031	
一般正味財産期首残高											4,554,958,844	4,554,958,844	
一般正味財産期末残高											4,519,655,813	4,519,655,813	
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額											0	0	
指定正味財産期首残高											0	0	
指定正味財産期末残高											0	0	
III 正味財産期末残高											4,519,655,813	4,519,655,813	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①子会社株式：原価法によっている。
- ②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- ③役員退職慰労引当金：役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。
(土地 8,647,866円 建物 7,492,653円)

2. 会計方針の変更

(1) 平成28年度税制改正による減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当期から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更した。

なお、この変更による財務諸表に与える影響はない。

(2) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当期より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除却債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用している。

なお、この変更による財務諸表に与える影響はない。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	436,497,890	5,619,530	67,484,746	374,632,674
小 計	868,891,210	5,619,530	67,484,746	807,025,994
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,573,780,000	—	15,035,200	1,558,744,800
建物設備修繕特定資産	1,498,387,970	45,500,528	31,527,430	1,512,361,068
会員活動強化特定資産	358,782,328	38,850,000	107,649,870	289,982,458
終身会費特定資産	—	87,300,000	—	87,300,000
退職給付引当特定資産	74,764,450	5,064,618	4,611,318	75,217,750
役員退職慰労引当特定資産	4,476,677	817,922	1,399,169	3,895,430
小 計	3,510,191,425	177,533,068	160,222,987	3,527,501,506
合 計	4,379,082,635	183,152,598	227,707,733	4,334,527,500

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	374,632,674	—	(374,632,674)	—
小 計	807,025,994	—	(807,025,994)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,558,744,800	—	(1,558,744,800)	—
建物設備修繕特定資産	1,512,361,068	—	(1,512,361,068)	—
会員活動強化特定資産	289,982,458	—	(289,982,458)	—
終身会費特定資産	87,300,000	—	(87,300,000)	—
退職給付引当特定資産	75,217,750	—	—	(75,217,750)
役員退職慰労引当特定資産	3,895,430	—	—	(3,895,430)
小 計	3,527,501,506	—	(3,448,388,326)	(79,113,180)
合 計	4,334,527,500	—	(4,255,414,320)	(79,113,180)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,071,541,714	1,696,909,040	374,632,674
什 器 備 品	230,708,803	190,544,586	40,164,217
一 括 償 却 資 産	6,291,660	5,843,193	448,467
ソ フ ト ウ ェ ア	60,330,666	53,854,955	6,475,711
合 計	2,368,872,843	1,947,151,774	421,721,069

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	685,582,647	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	337,052,645	未収金	31,302,734
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 75,217,750
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	△ 75,217,750

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	5,062,500
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用(①+②)	5,062,500

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

8. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、仕組債により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、仕組債のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

特定資産の一部は、債券、仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）がある。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金管理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

関連する市場の動向を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,933,000	6,667,000	6,933,000	—	6,667,000
退 職 給 付 引 当 金	74,764,450	5,062,500	4,609,200	—	75,217,750
役員退職慰労引当金	4,476,677	817,922	1,399,169	—	3,895,430
合 計	86,174,127	12,547,422	12,941,369	—	85,780,180

財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

科	目	金 額	
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	(手許有高)	610,607	
振替預金	(ゆうちょ銀行)	37,193,822	
普通預金	(三菱東京UFJ銀行他)	175,695,350	
未収金	(会館運営収入未収分他)	37,370,651	
前払費用	(損害保険、鑑賞ツアー他)	1,562,145	
流動資産合計			252,432,575
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1, 28番2, 28番3, 28番4, 敷地3, 399.97㎡)	432,393,320	
建 物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学士会館建物地下1 階付5階建延9, 337.47㎡)	374,632,674	
基本財産合計			807,025,994
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	(第311回利付10年国債他)	1,558,744,800	
建物設備修繕特定資産	(第144回三菱東京UFJ銀行債他)	1,512,361,068	
会員活動強化特定資産	(第27回三井住友銀行債他)	289,982,458	
終身会費特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金)	87,300,000	
退職給付引当特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	75,217,750	
役員退職慰労引当特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金)	3,895,430	
特定資産合計			3,527,501,506
(3) その他固定資産			
什器備品	(カーペット工事他)	40,164,217	
一括償却資産	(モバイルPC)	448,467	
ソフトウェア	(会員管理DB)	6,475,711	
子会社株式	(株学士会館精養軒)	16,000	
その他固定資産合計			47,104,395
固定資産合計			4,381,631,895
資 産 合 計			4,634,064,470
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	(各業者に対する未払額)	21,810,735	
前受金	(鑑賞ツアー他)	2,686,915	
預り金	(職員他源泉所得税他)	955,727	
未払消費税等	(28年度確定消費税額)	3,175,100	
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,667,000	
流動負債合計			35,295,477
2. 固定負債			
退職給付引当金	(職員16名分)	75,217,750	
役員退職慰労引当金	(役員19名分)	3,895,430	
固定負債合計			79,113,180
負 債 合 計			114,408,657
正 味 財 産			4,519,655,813

平成 29 年 5 月 25 日

一般社団法人 学士会
理事長 佐々木 毅 殿

一般社団法人 学 士 会

監 事 岡 田 明 重 ⑩

監 事 橋 本 徹 ⑩

監 事 福 井 俊 彦 ⑩

監 事 三 木 繁 光 ⑩

監 査 報 告

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの当法人の事業年度の事業報告、計算書類、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務の執行について監査を行いましたので、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行い、当該事業年度の事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討いたしました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を行った。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって橋本徹監事、福井俊彦監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1	はしもと 橋本 とおる 徹	東京大学 法学部 昭和32年卒	学士会監事 ㈱日本政策投資銀行 相談役 元 ㈱富士銀行頭取
2	ふくい 福井 としひこ 俊彦	東京大学 法学部 昭和33年卒	学士会監事 キャノングローバル戦略研究所理事長 元 日本銀行総裁